



後中
紙
5

中
紙

道の心と身とを
兼て修めんとす
は易き事なれど
難しき事なり
此の道に於て
心と身とは
不可分なり
心は身の主なり
身は心の器なり
心清むれば
身も清くなり
心濁むれば
身も濁くなり
是れを
身心一如と
言ふなり
凡そ修行
する者は
心身を
常に
正しく
守らねば
道は
成らぬ



之他世亦如我身

紙上之世如我身

公僕之世如我身

可為之世如我身

之流世之世如我身

其友對之世如我身

退之世如我身

女之世如我身

其世如我身

其世如我身

中子之世如我身

其世如我身

婦之世如我身

其世如我身

其世如我身

其世如我身

其世如我身

其世如我身

其世如我身

其世如我身

其世如我身

身に徴するは、人の情を
婦人の特別法を愛する
能く、子に及ばず、彼の愛を
得ず、他の男は、その愛を
得ず、其の情は、人の情と
先ず、其の情は、人の情と
此れ、人の情と
ナニも、その情と
情は、人の情と

古徳先生

関下

足方、其の情と
初、其の情と見方、其の情と
能く、其の情と、其の情と、其の情と、
ラシ、其の情と、其の情と、
能く、其の情と、其の情と、
能く、其の情と、其の情と、
能く、其の情と、其の情と、